

相原みちまち推進会議第7回全体会を7月25日に開催いたしました。

6月22、23日に実施された都市計画変更素案説明会が開催されたことを受けて、改めて事業の進め方が明らかになってきたことから、推進会議で出されてきた意見・課題を基にまちづくりの方針を具体化する必要があります。

今回のまちづくりニュースでは、当日の会の模様についてご報告いたします。

相原みちまち推進会議 第7回全体会

進行役 法政大学デザイン工学部 高見公雄 教授

□6月22、23日に開催された都市計画変更素案説明会について報告（町田市）

6/22（金）、23（土）に都市計画道路3・3・36号相原鶴間線（町田街道）、3・4・48号相原駅南線の都市計画変更素案説明会を東京都、町田市共催にて実施し、2日間で約150名の方々に出席頂きました。

町田街道については、現在の都市計画幅員18mを32.5mに拡幅し、アンダーパスとして整備することにより、大戸踏切付近での慢性的な渋滞緩和や事故防止が期待されるとともに、緊急車両通行にも役立つこととなります。

今後は、来年春を目途に都市計画案の告示・縦覧、都市計画変更を行い、平成26年度までに都市計画事業認可を行う予定とのことです。事業期間はまだ定まっておりませんが、10年程度かかるのではないかと考えているとのことです。

□話題提供 まちづくりの進め方（街区開発や細街路の整備）、にぎわいづくりについて

都市計画変更素案の説明会を開催した時点で都の計画は詰められており、都としてはこの計画で進めたいという宣言をしたこととなります。本日の全体会議は、説明会を受けて今後どうしていくかを議論する会になろうかと思っています。

① まちづくり（街区開発）についての議論とその場づくり

相原駅西口駅前には多くが第一種低層住居専用地域に指定されており、コンビニすら立地できない規制がかかっています。今後の土地利用規制については、規制の緩い用途地域に変更するとともに地区計画を定めて現在の環境にも配慮していくことが基本となります。

従って、今年度中に地元の方も交えて地区計画で定めるルールに関する議論を始め、その上でどのような用途地域をとしていくか、という検討を行っていく必要があります。

先日の西口権利者の会では、今後の街の姿として大きく変えていくべきとの意見や、今の姿を残しながら少しずつ変えていけば良いのではないかといった意見がありました。また、地区に望ましい将来像の案を提示すべきという宿題を頂いています。

② 東口へのアンダーパス道路の確保についての議論

東口権利者の会にて、町田街道の工事は長期間を要するので、アプローチ道路などについてはもう少し考える時間がある旨の話をしたところ、今から考えておかないと町田街道だけができて終わりになるとの意見があり、こちらも東口でどのような道路配置が考えられるか案を提示するよう宿題を頂いています。

③ 賑わいづくりについての議論とその場づくり

新たに道路ができることを受けて、駅前に人の往来のあるまちとしていくために、また賑わいを創っていくために何をすべきか、このまちの利用者も想像しながら賑わいづくりに関する議論をしていきたいと考えています。

④ 今年度内に行うこと、決めること

今年度中に西口の土地利用規制などのルールをまとめないと、いざ道路ができた時に間に合なくなります。これは東口のアプローチ道路についても同様です。まちの将来像に関する議論、検討も始めたいと考えており、賑わいづくりの活動グループなどを立ち上げていきたいと考えています。

□意見交換（主なご意見）

当日は高見先生の話題提供のほか、地域の方から鉄道を移設・嵩上することで町田街道のアンダーパスを短くする案について発表いただきました。その後、以下のような意見交換を行ないました。

- 相原商業活性化の会でしだれ桜を植樹したい。場所は決めていないが、駅の周辺でと考えている。
⇒植樹する場所については相談させて頂きたい。（町田市）
⇒駅前広場内に設置する貯水槽は、それほど面積が必要ないという話だが、そこに植樹することは可能か。
⇒スペース的には可能ではないか。今後、議論していきたい。（高見）
- アンダーパス化により踏切事故が減少との説明があったが、事故発生状況はどうなっているか。
⇒確認して回答する。（町田市）踏切事故は発生すると大事故になりやすい。（高見）
- 町田街道の事業については、物事を決めるスタート地点にいるという理解でよいか。
⇒説明会までに都はかなり検討を詰めており、10のうちの9.8位の段階に来ていると思った方がよい。（高見）
- 全体会議はそろそろまとめる段階にあるのではないか。住民からの要望等も概ね出揃ったのではないか。
⇒権利者の会からも同様の宿題を頂いており、まさに今までの議論をまとめる段階に来たと考えている。次回全体会議でまちづくりの案を提示したい。（高見）
- これまでに何回か意見を述べてきたが、それで終わってしまうのが非常に残念。出席者で議論していきたい。
⇒今後は少しそのようなスタイルを考えたい。（高見）
- 地区の人たちの生活を守る、良くするのがまちづくりと考える。アンダーパスができて諏訪神社の山車が東口に渡れるのかなど地区のことを考えてもらいたい。
- 地区内でどのようなことができたならよいと考えているか。
⇒地区に新しく人が少し増えた方がよいと思っている。駅前に空地が多いため、中小規模のマンションが建つとよいと考えている。現在の用途地域では建たないが、緩和する代わりにマンション事業者等が取付道路を整備するなどの対応を図っていくことになる。（高見）
- アンダーパス整備後も、いなげやは残ってくれるだろうか。撤退されたら日常的な買い物ができなくなる。マンションが良いかはともかく、こういうまちにするという拠り所となるような考えを示すことが大事ではないか。
- 西口の道路はほぼ完成しているのに通行止めとなっている。いつから通れるようになるか。
⇒盆明けから工事を開始する。町田街道へ抜ける道路についても今年度中の開通を予定している。（町田市）
- 鉄道を高架化する考え方についても、住民意見としてJRに投げかけていくことも考えてほしい。鉄道高架化の麴により、町田街道を通行止めにし、迂回等が必要となるのであれば、どの程度まで住民として容認できるかアンケートを行なえないか。
⇒町田街道は広域的な道路であり、災害時の緊急輸送路としての役割も担っている。そのため、地域の意見だけでは決められるものではない。今年度、まちづくりや賑わいづくり等について住民アンケートを行う予定であり、検討材料としたい。（高見）



■今後の予定

相原みちまち推進会議を、10月16日に開催します！

今年度三回目になる次回のみちまち推進会議は以下の日程で開催いたします。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください！

相原みちまち推進会議 第8回全体会

◆開催日時・会場

日時 10月16日（火曜日）午後7時～

会場 堺市民センター 大ホール

*これまで発行した相原駅周辺まちづくりニュースは
http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/sumai/toshikei/t_07/aihara/news.html
に掲載しています。